

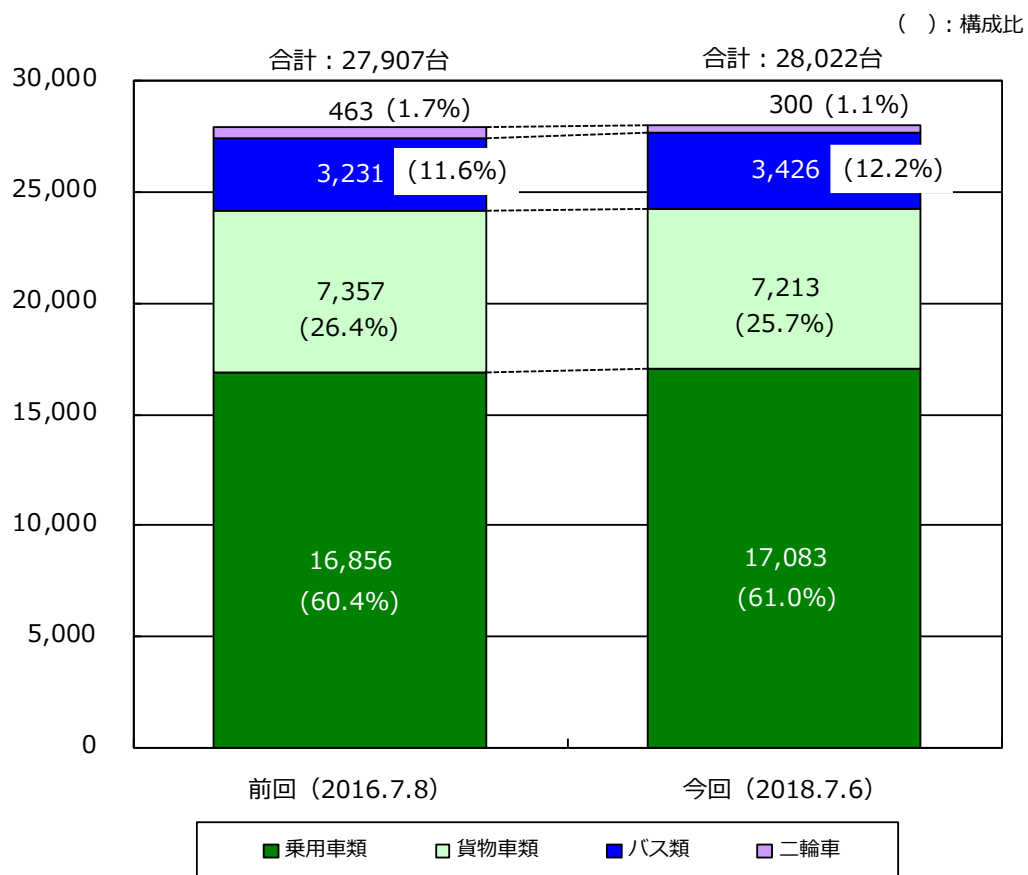
2. 入港車両カウント調査

2-1 全体の入港車両台数

(1) 全体の入港車両台数

2018年7月6日(金)の成田空港への入港車両台数は、全体で28,022台となっており、このうち乗用車類が最も多く61.0%、貨物車類が25.7%、バス類が12.2%、二輪車が1.1%となっている。前回調査と比較すると、全体の入港車両台数は0.4%増加している。車種別にみると、バス類が6.0%の増加、乗用車類が1.3%の増加となっている。それ以外の車種では、貨物車類が2.0%減少し、二輪車が35.2%の減少となっている。調査日の天候が雨だったため、二輪車が大幅に減少したものと考えられる。(図2-1-1)

入港車両台数(台/日)



- ※ 乗用車類：乗用車、タクシー・ハイヤー
 貨物車類：小型貨物車、普通貨物車
 バス類：民間駐車場送迎車、路線バス、貸切・団体バス、ホテルバス、ターミナル連絡バス

図 2-1-1 入港車両台数

(2) 車種別入港車両台数

入港車両台数は、乗用車が 15,611 台と最も多く、全体の 55.7%を占めている。次いで貨物車が 7,213 台（構成比：25.7%）、タクシー・ハイヤーが 1,472 台（同：5.3%）となっている。（図 2-1-2、図 2-1-3）

前回調査と比較すると、乗用車、路線バス、ターミナル連絡バスは増加しており、民間駐車場送迎車は変わらず、それ以外は減少となっている。このうち、ターミナル連絡バスは 52.8%の増加、路線バスは 14.5%の増加、乗用車は 2.0%の増加となっている。（図 2-1-2）

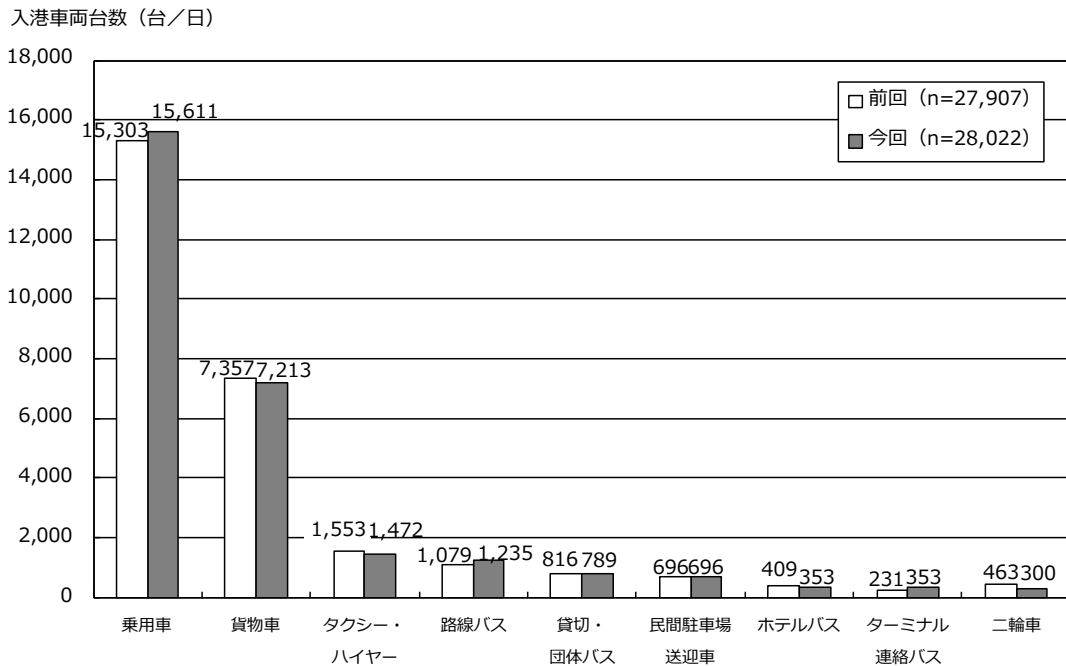


図 2-1-2 車種別入港車両台数

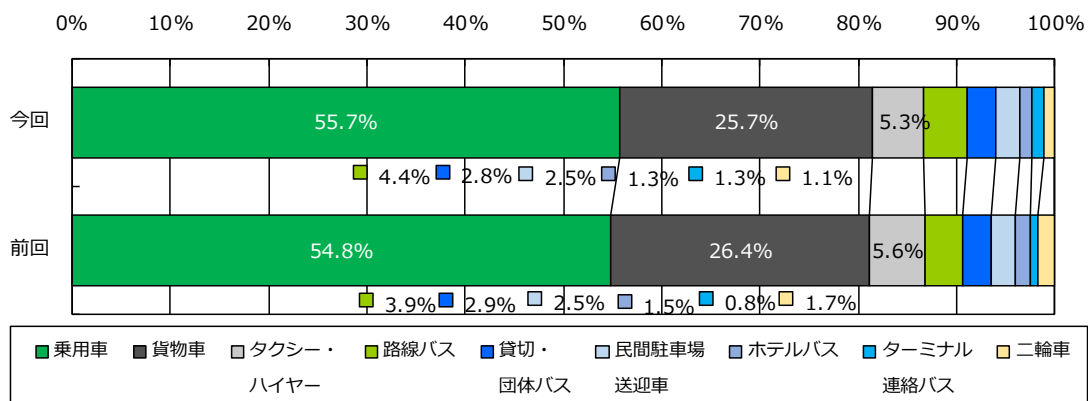


図 2-1-3 車種別入港車両台数構成比

- ※ 車種区分は以下の通り
- ・貨物車：小型貨物車、大型貨物車
 - ・路線バス：東京空港交通等の中・長距離の高速路線バス、地域路線バス（千葉交通、成田空港交通の近距離路線バス）
 - ・ホテルバス：近隣ホテルからの送迎車（大型バス、マイクロバス）
 - ・駐車場送迎車：近隣駐車場利用の乗用車、近隣駐車場からの送迎車（マイクロバス）

2-2 地点別集計

(1) 地点別入港車両台数

地点別の入港車両台数は、第2ゲート（新空港自動車道および国道295号からの入港ゲート）からが最も多く17,288台であり、入港車両台数の61.7%を占めている。次いで第6ゲートが6,488台（構成比：23.2%）、第1ゲートが3,228台（同：11.5%）となっている。

前回調査と比較して、第1ゲートが176台の増加（5.8%増）、第2ゲートが291台の増加（1.7%増）、第3ゲートが11台の増加（15.7%増）、第7ゲートが29台（14.0%増）、南部貨物ゲートが8台の増加（1.5%増）となっている。（図2-2-1、図2-2-2）

入港車両台数（台/日）

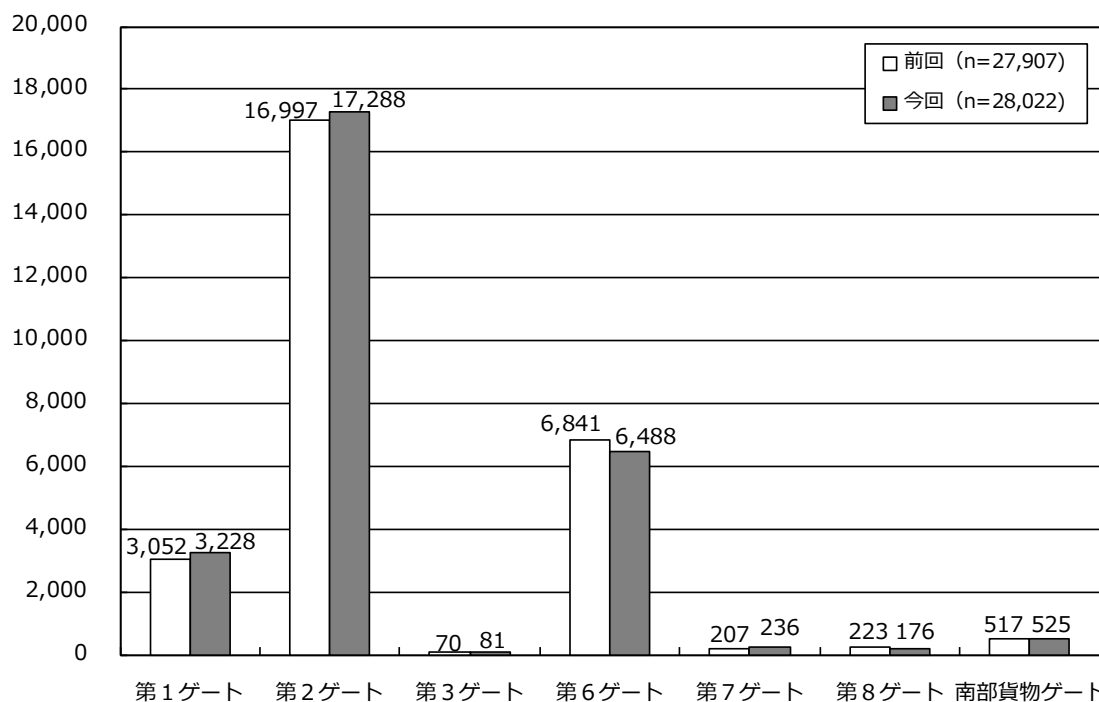


図 2-2-1 地点別入港車両台数

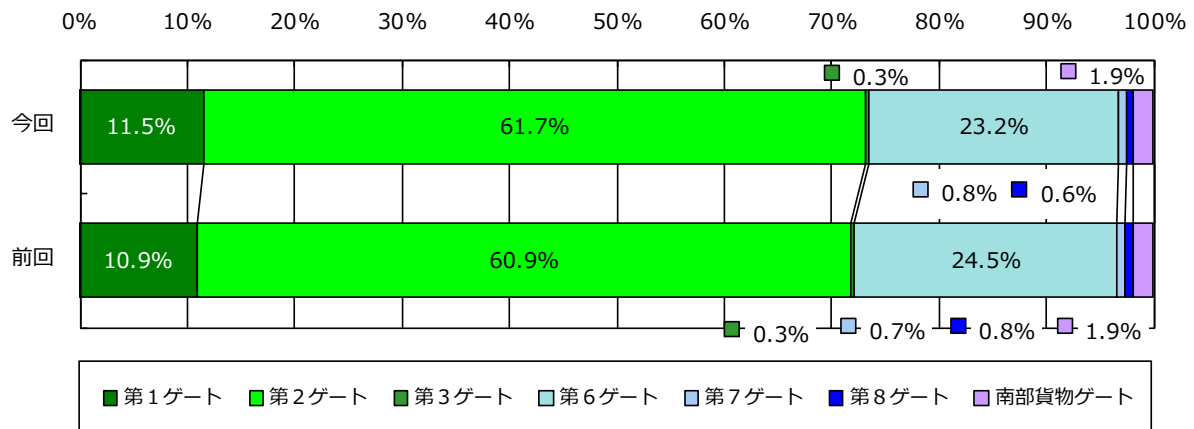


図 2-2-2 地点別入港車両台数構成比

(2) 地点別車種別入港車両台数

① 第1ゲート

乗用車の入港が最も多く、次いで貨物車、タクシー・ハイヤーの順となっている。前回調査と比較すると、乗用車、貨物車が増加している。(図 2-2-3)

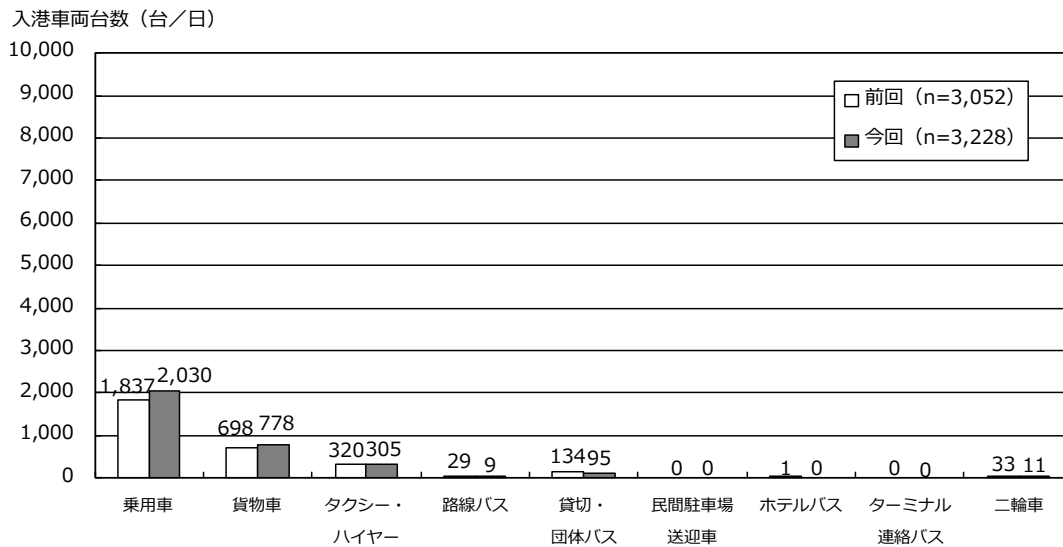


図 2-2-3 第1ゲートの車種別入港車両台数

② 第2ゲート

第2ゲートでは、乗用車の入港が最も多く、次いで貨物車、路線バスの順となっている。前回調査と比較すると、乗用車、貨物車、路線バス、貸切・団体バス、民間駐車場送迎車、ターミナル連絡バスが増加している。(図 2-2-4)

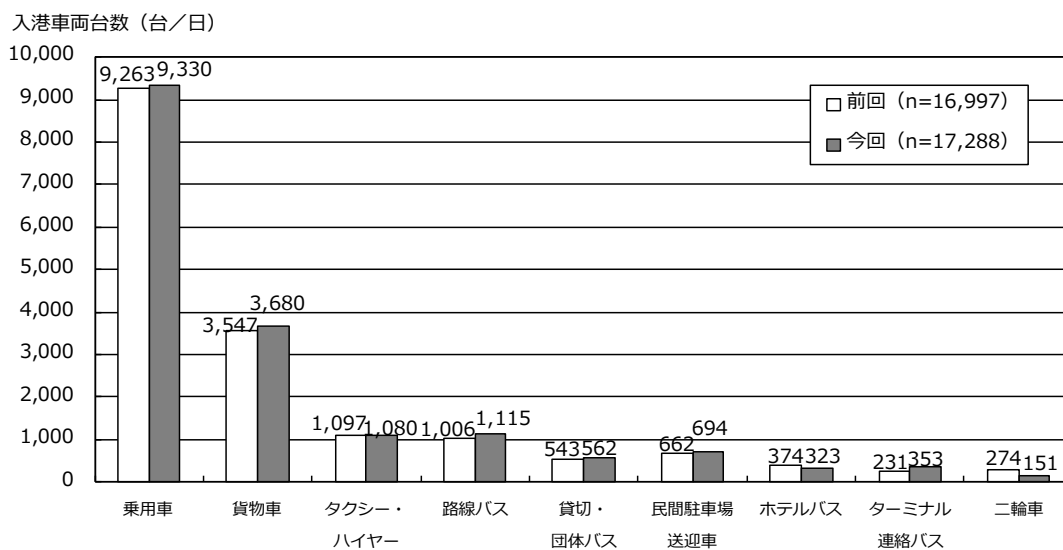


図 2-2-4 第2ゲートの車種別入港車両台数

③ 第3ゲート

二輪車のみが入港であり、前回調査より11台の増加となっている(図2-2-5)。

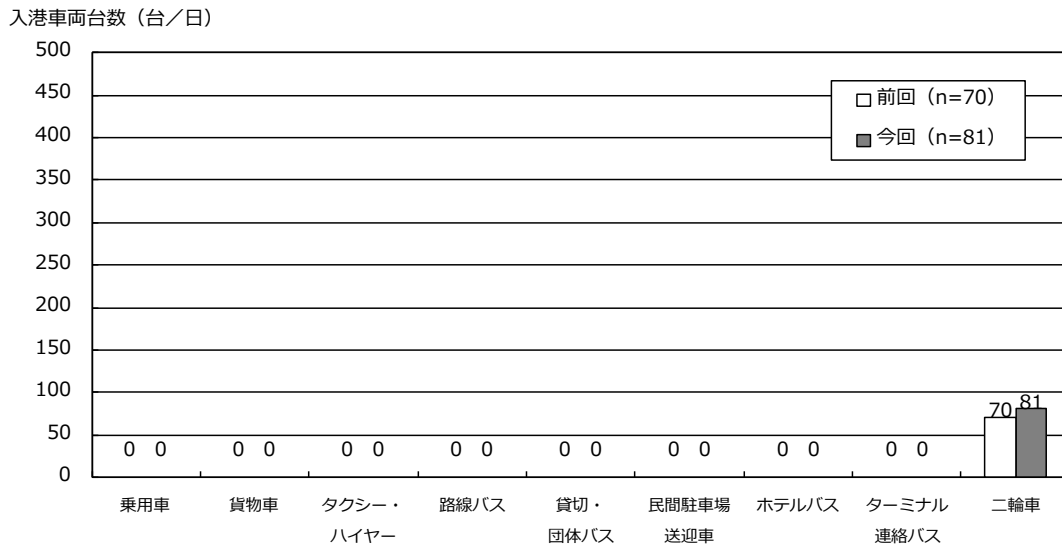


図 2-2-5 第3ゲートの車種別入港車両台数

④ 第6ゲート

乗用車の入港が最も多く、次いで貨物車、貸切・団体バスの順となっている。前回調査と比較すると、乗用車、路線バスが増加している。(図2-2-6)

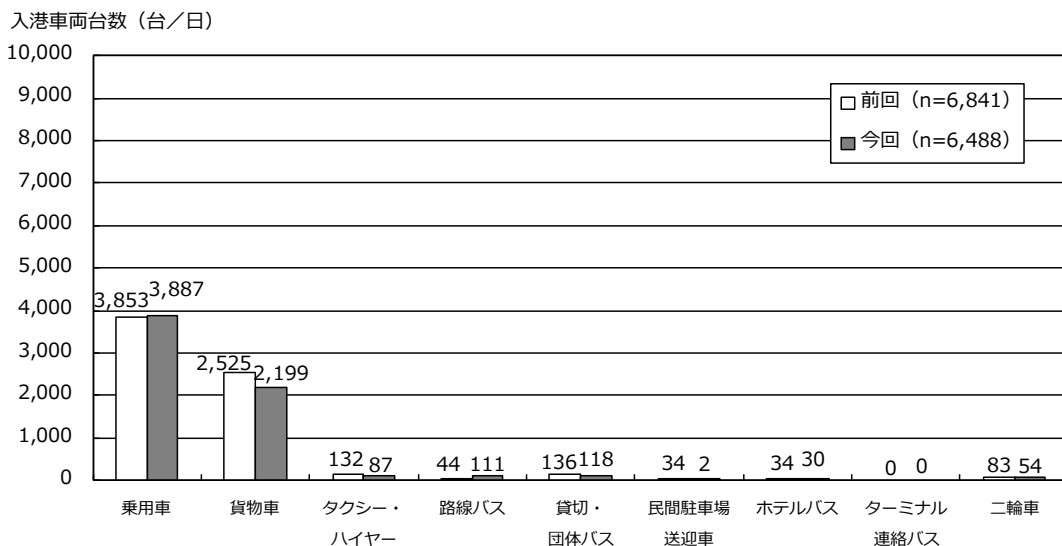


図 2-2-6 第6ゲートの車種別入港車両台数

⑤ 第7ゲート

貨物車の入港が最も多く、次いで乗用車、貸切・団体バスの順となっている。前回調査と比較すると、乗用車、貨物車、貸切・団体バスで増加している。(図 2-2-7)

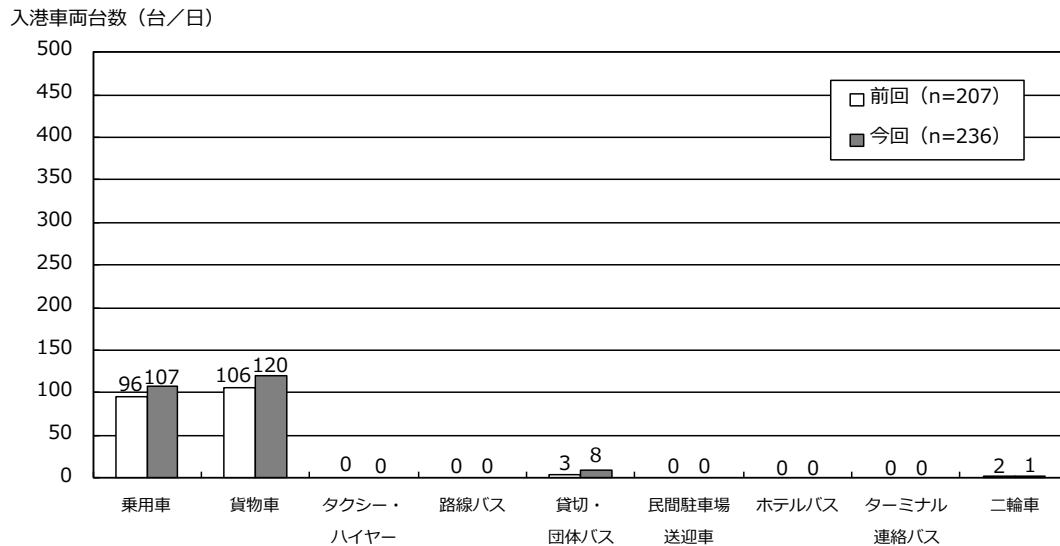


図 2-2-7 第7ゲートの車種別入港車両台数

⑥ 第8ゲート

貨物車の入港が最も多く、次いで乗用車、貸切・団体バスの順となっている。前回調査と比較すると、乗用車、貨物車で減少しており、貸切・団体バス、二輪車で増加している。(図 2-2-8)

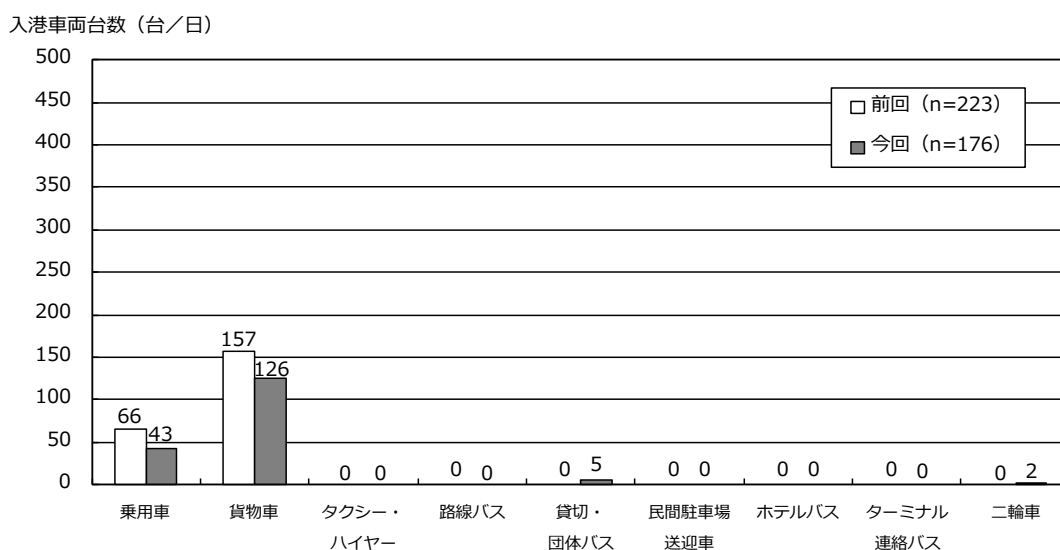


図 2-2-8 第8ゲートの車種別入港車両台数

⑦ 南部貨物ゲート

南部貨物ゲートでは、貨物車の入港が最も多く、次いで乗用車、貸切・団体バスの順となっている。前回調査と比較すると、乗用車、貸切・団体バスは増加しており、貨物車、タクシー・ハイヤー、二輪車は減少している。(図 2-2-9)

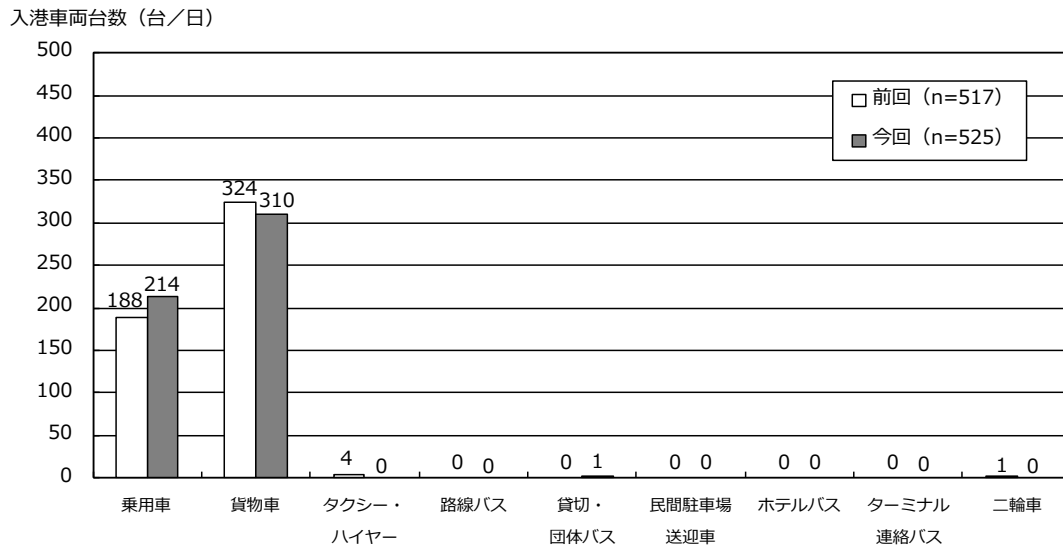


図 2-2-9 南部貨物ゲートの車種別入港車両台数

2-3 時間帯別集計

(1) 時間帯別入港車両台数

時間帯別の入港車両台数は、従業員の出勤時間帯および午前中の旅客のピークにあわせて 5 時以降に急増し、8 時台には 3,118 台と、最大ピークを迎えている。その後、1,500 台程度まで減少し 16 時頃まで 1,500~2,000 台の入港車両台数で推移し、それ以降、緩やかな減少となっている。前回調査の時間帯分布とほぼ同様の傾向である。(図 2-3-1)

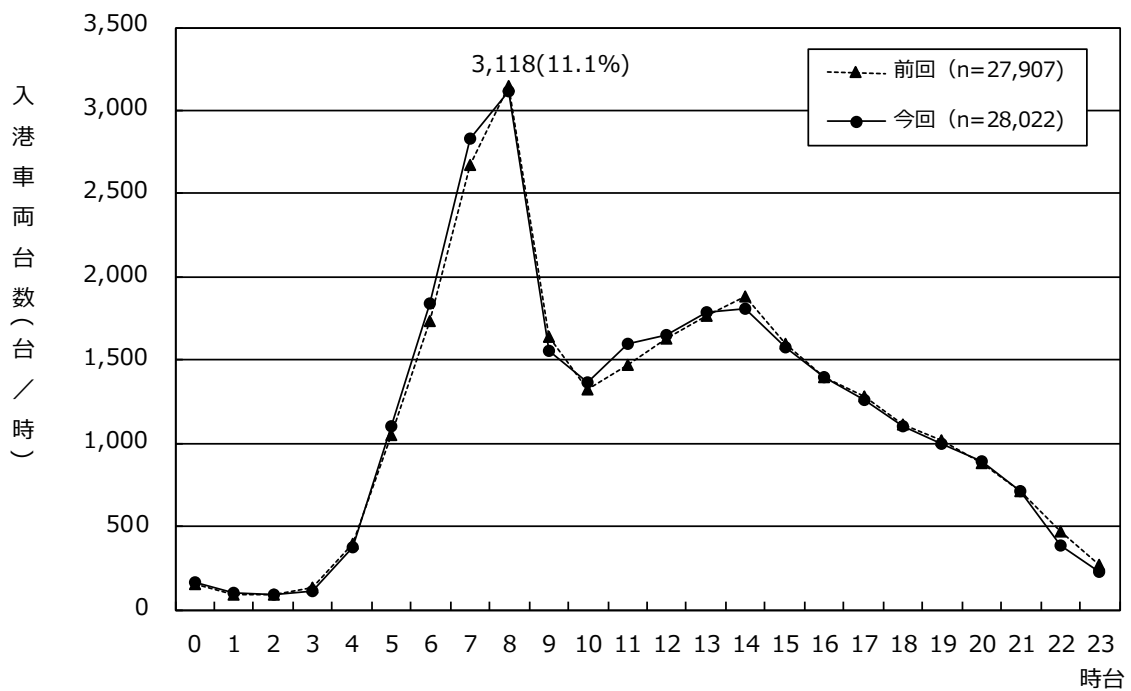


図 2-3-1 時間帯別入港車両台数

(2) 地点別時間帯別入港車両台数

① 第1ゲート

第1ゲートのピークは8時台であり、入港車両台数は421台、ピーク時集中度率は13.0%となっている。前回調査の時間帯分布とほぼ同様の傾向となっている。(図2-3-2)

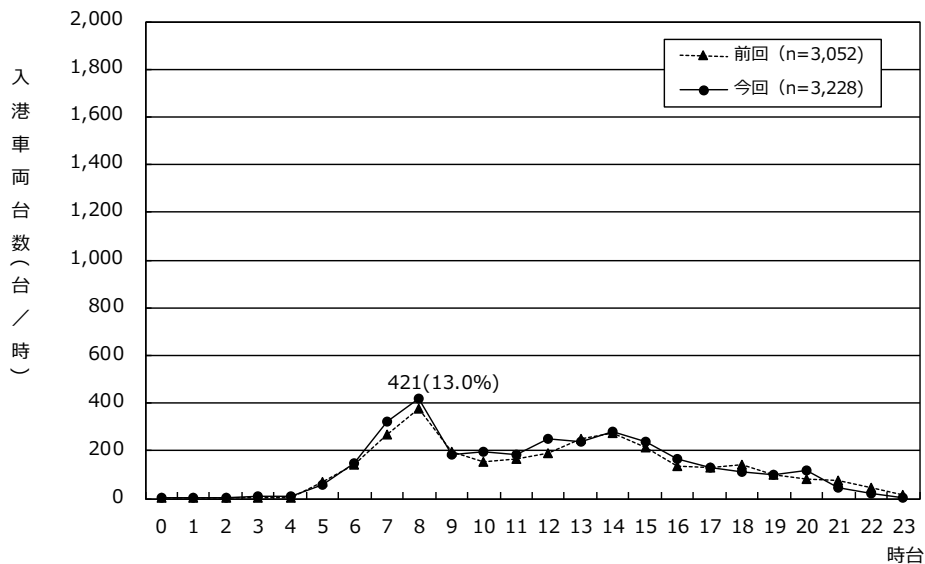


図 2-3-2 第1ゲートの時間帯別入港車両台数

② 第2ゲート

第2ゲートのピークは8時台で、入港車両台数は1,729台、ピーク時集中度率は10.0%となっている。前回調査の時間帯分布とほぼ同様の傾向となっている。(図2-3-3)

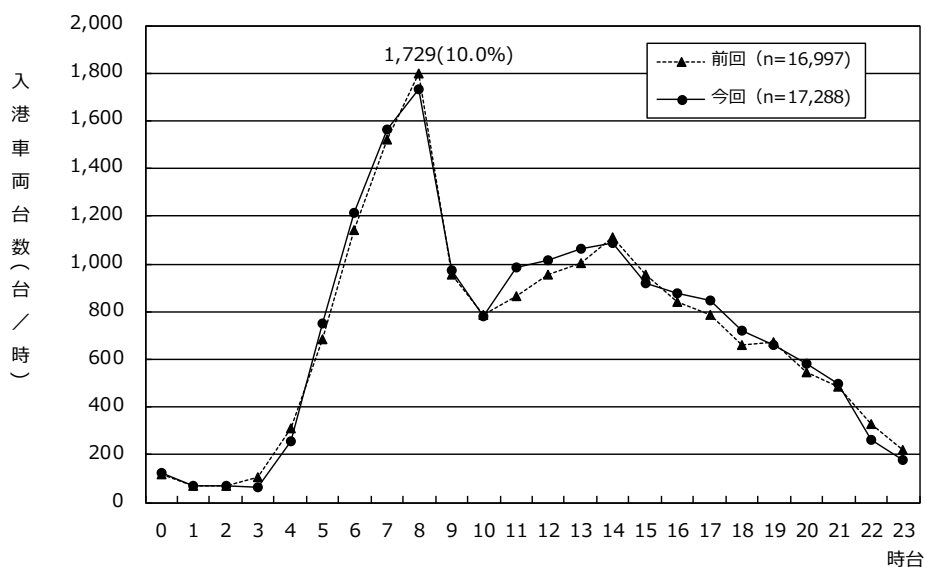


図 2-3-3 第2ゲートの時間帯別入港車両台数

③ 第3ゲート

第3ゲートのピークは8時台で、入港車両台数は20台、ピーク時集中率は24.7%となっている。前回調査と比較して、5時～8時台の入港車両台数が増加している。(図 2-3-4)

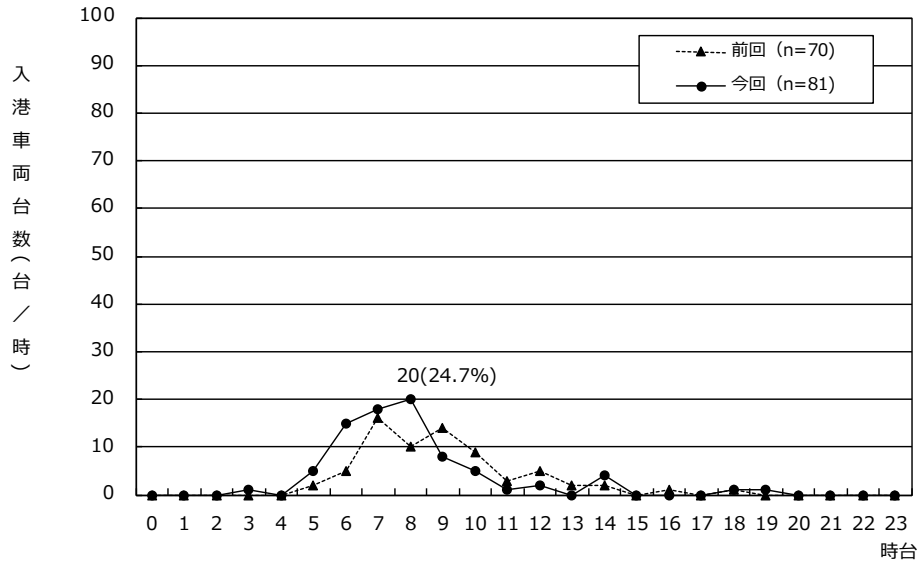


図 2-3-4 第3ゲートの時間帯別入港車両台数

④ 第6ゲート

第6ゲートのピークは8時台であり、入港車両台数は843台、ピーク時集中率は13.0%となっている。前回調査の時間帯分布とほぼ同様の傾向となっている。(図 2-3-5)

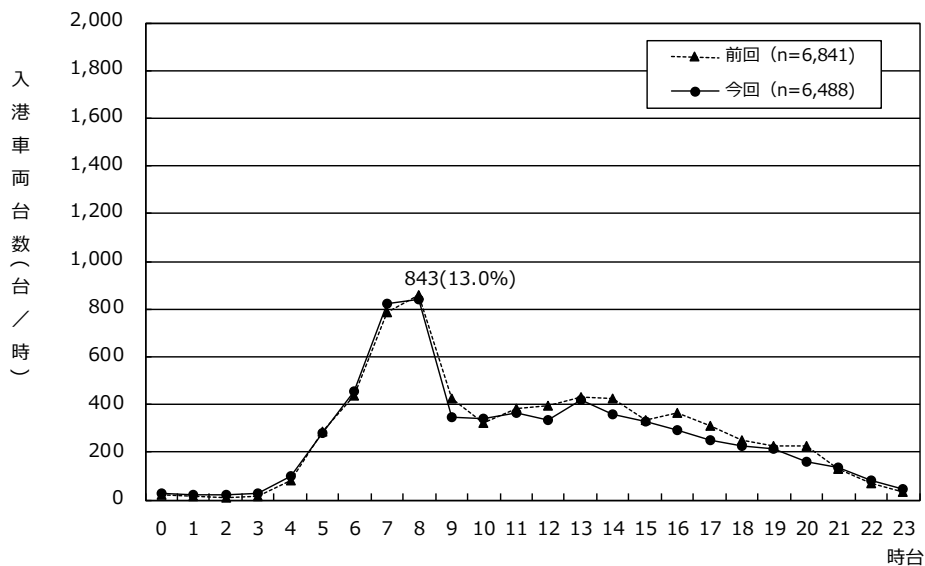


図 2-3-5 第6ゲートの時間帯別入港車両台数

⑤ 第7ゲート

第7ゲートのピークは7時台で、入港車両台数は52台、ピーク時集中率は22.0%となっている。前回調査と比較すると、7時台の入港車両台数が増加しており、ピークが8時台から7時台にシフトしている。(図 2-3-6)

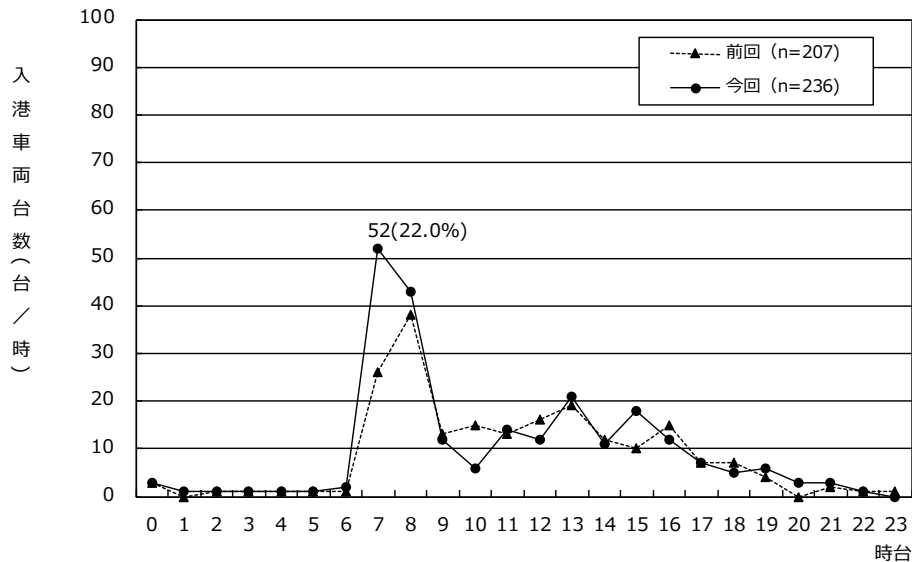


図 2-3-6 第7ゲートの時間帯別入港車両台数

⑥ 第8ゲート

第8ゲートのピークは7時台で、入港車両台数は19台、ピーク時集中率は10.8%となっている。前回調査と比較して、特に7時台、18時台、20時~22時台で入港車両台数が増加している。(図 2-3-7)

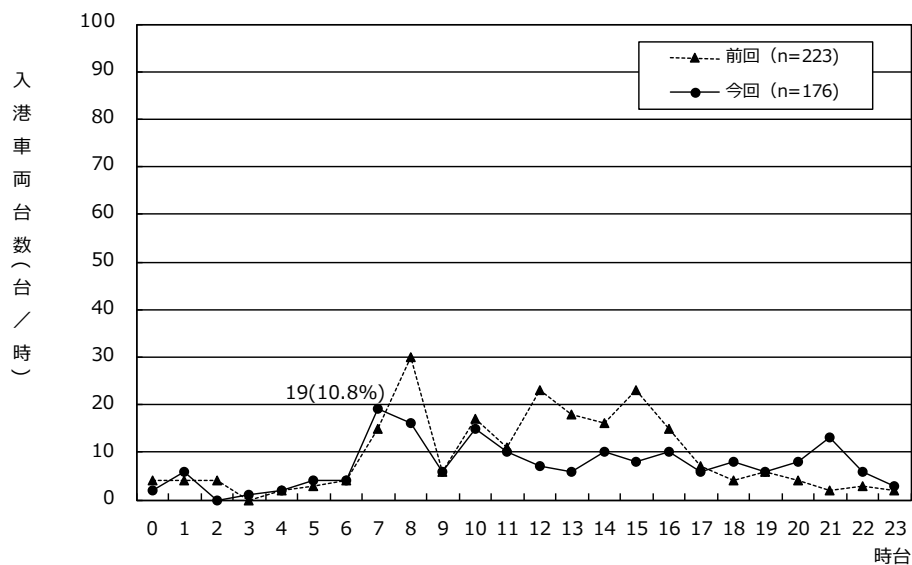


図 2-3-7 第8ゲートの時間帯別入港車両台数

⑦ 南部貨物ゲート（閉鎖時間 23:00～7:00）

南部貨物ゲートのピークは15時台で、入港車両台数は67台、ピーク時集中率は12.8%となっている。前回調査と比較して、8時台、10・11時台、14時～16時台、20時台で入港車両台数が増加しており、9時台、12・13時台、17・18時台では減少していることがわかる。（図2-3-8）

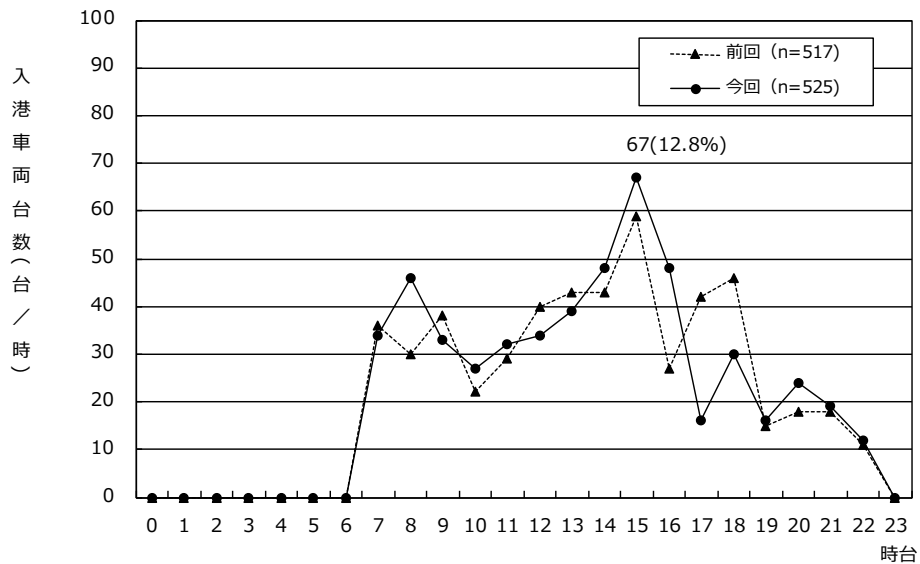


図 2-3-8 南部貨物ゲートの時間帯別入港車両台数

(3) 車種別時間帯別入港車両台数

① 乗用車

乗用車のピークは8時台の2,235台であり、ピーク時集中率は14.3%となっている。前回調査と比較すると、大きな変化はみられないが、5時～8時台で入港車両台数が若干増加していることがわかる。(図2-3-9)

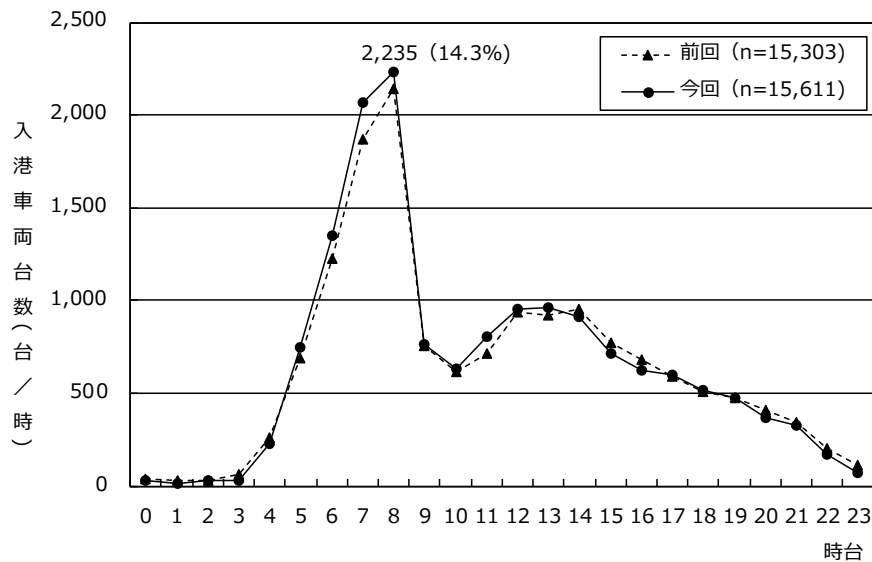


図 2-3-9 乗用車の時間帯別入港車両台数

② 貨物車

貨物車のピークは15時台の554台であり、ピーク時集中率は7.7%となっている。前回調査と比較すると、15・16時台で増加し、8時～10時台、13・14時台、17時台で減少していることがわかる。(図2-3-10)

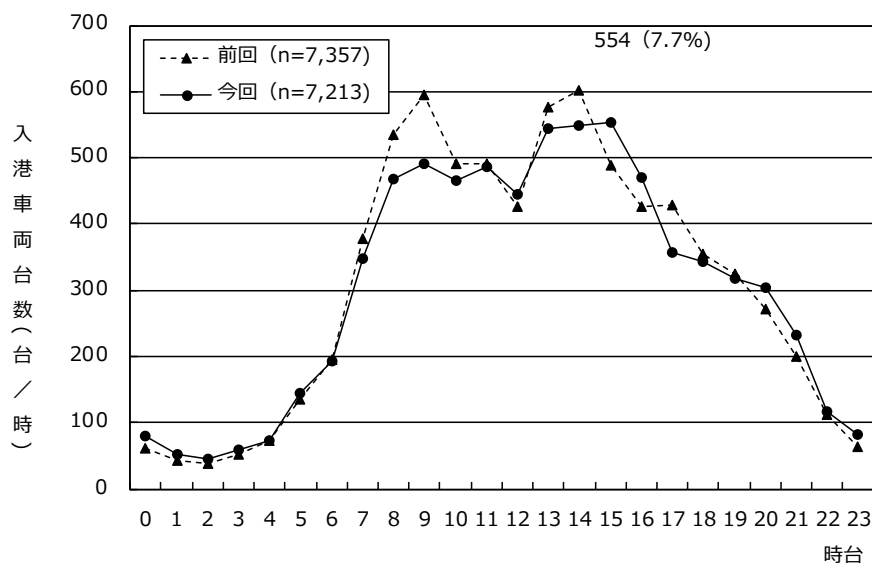


図 2-3-10 貨物車の時間帯別入港車両台数

③ タクシー・ハイヤー

タクシー・ハイヤーのピークは8時台の110台であり、ピーク時集中率は7.5%となっている。前回調査と比較すると、7時台、10時～13時台で入港車両台数が増加し、8・9時台、14～19時台、21～23時台で減少していることがわかる。(図 2-3-11)

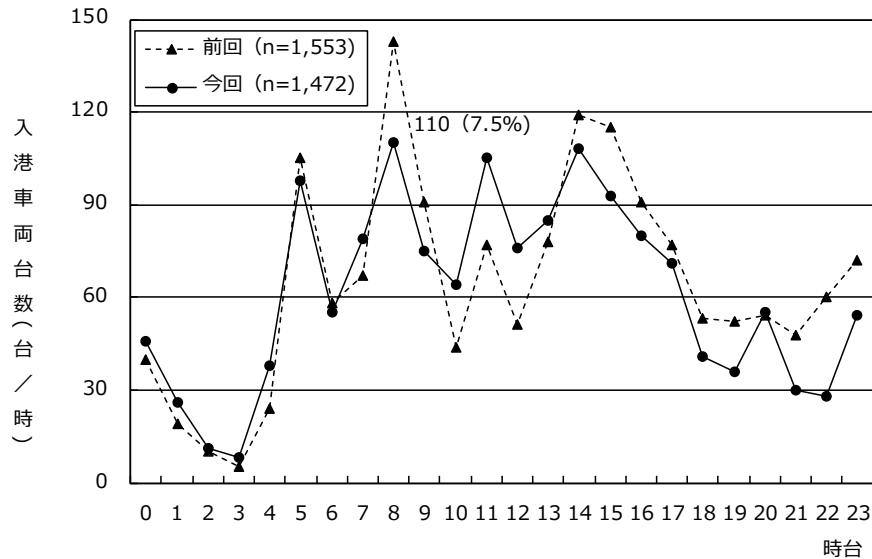


図 2-3-11 タクシー・ハイヤーの時間帯別入港車両台数

④ 路線バス

路線バスのピークは7時台の124台であり、ピーク時集中率は10.0%となっている。前回調査と比較すると、大きな変化はみられないが、7時～11時台、14時～22時台の入港車両台数が増加し、12・13時台でやや減少していることがわかる。(図 2-3-12)

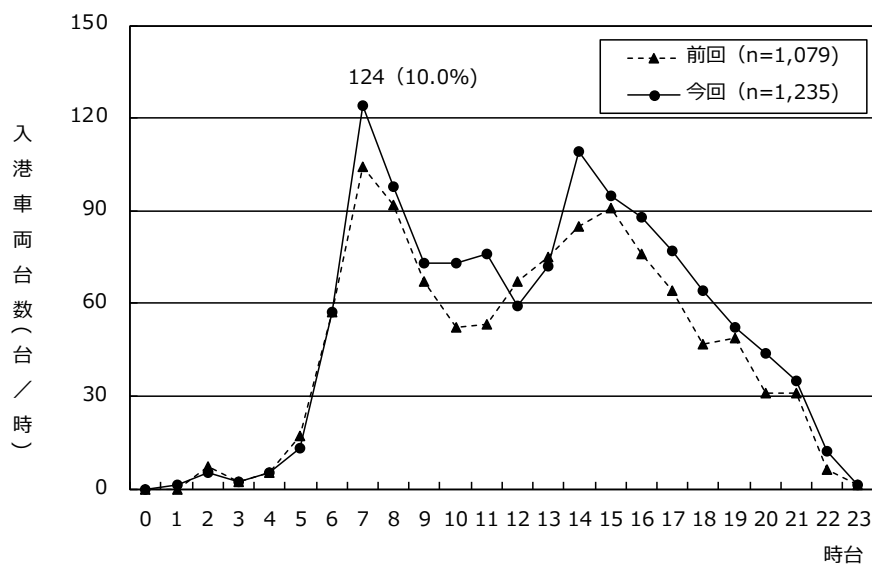


図 2-3-12 路線バスの時間帯別入港車両台数

⑤ 貸切・団体バス

貸切・団体バスのピークは7時台の61台であり、ピーク時集中率は7.7%となっている。前回調査と比較すると、大きな変化はみられないが、10時～13時台、16・17時台で入港車両台数が増加し、7・8時台、18時～22時台で減少している。(図2-3-13)

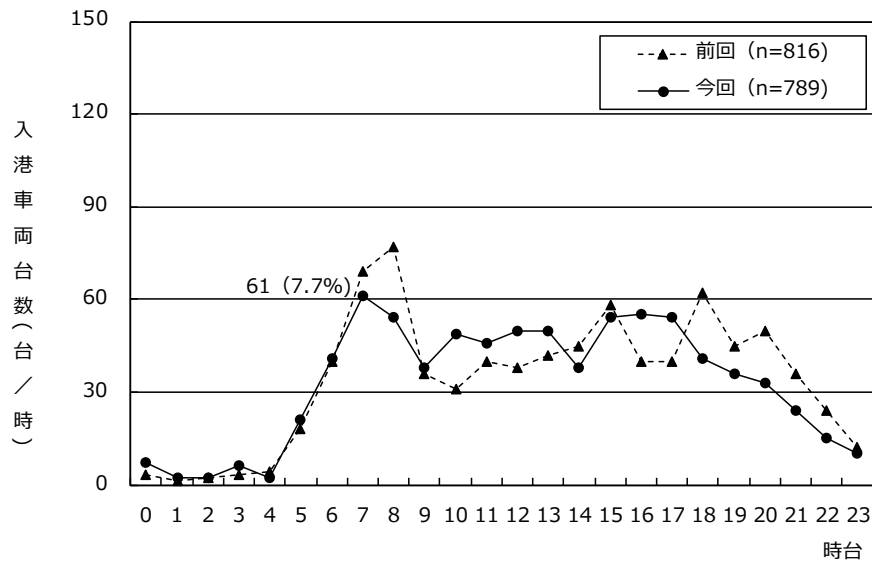


図 2-3-13 貸切・団体バスの時間別入港車両台数

⑥ 民間駐車場送迎車

民間駐車場送迎車のピークは17時台の60台であり、ピーク時集中率は8.6%となっている。前回調査と比較すると、大きな変化はみられないが、9時台、14時台、17時～21時台で入港車両台数が増加し、4時台、6時台、10時台、12時台、16時台、22時台で減少している。(図2-3-14)

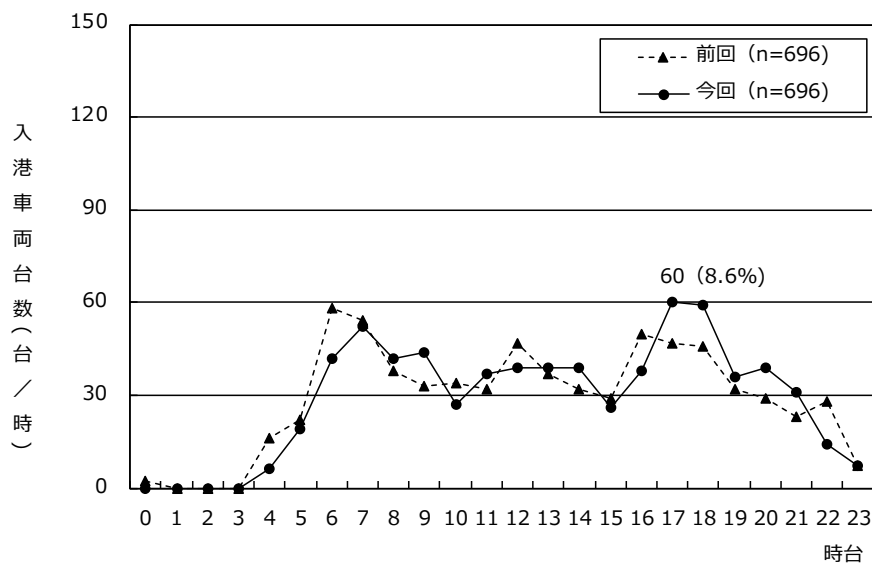


図 2-3-14 民間駐車場送迎車の時間別入港車両台数

⑦ ホテルバス

ホテルバスのピークは8時台の36台であり、ピーク時集中率は10.2%となっている。前回調査と比較すると、7時台の入港車両台数が減少しており、ピークが7時台から8時台にシフトしている。(図 2-3-15)

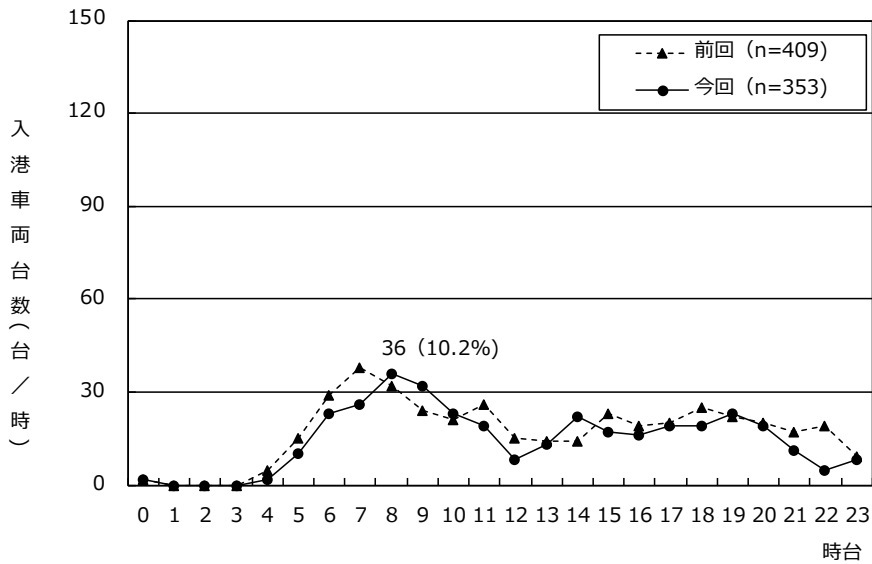


図 2-3-15 ホテルバスの時間帯別入港車両台数

⑧ ターミナル連絡バス

ターミナル連絡バスのピークは6、19時台の24台であり、ピーク時集中率は6.8%となっている。前回調査と比較すると、交通量のあるすべての時間帯で増加している。(図 2-3-16)

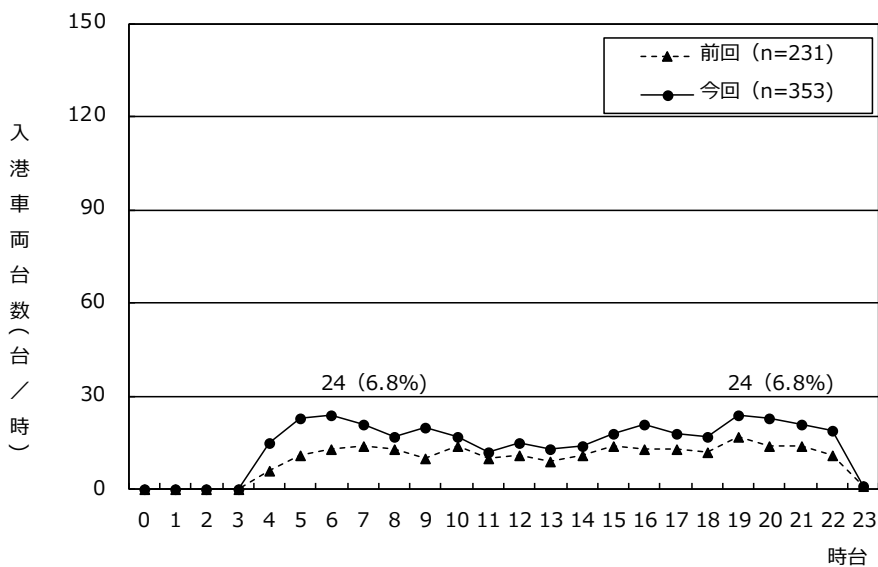


図 2-3-16 ターミナル連絡バスの時間帯別入港車両台数

⑨ 二輪車

二輪車のピークは8時台の58台であり、ピーク時集中率は19.3%となっている。前回調査と比較すると、おおむねすべての時間帯で減少していることがわかる。(図 2-3-17)

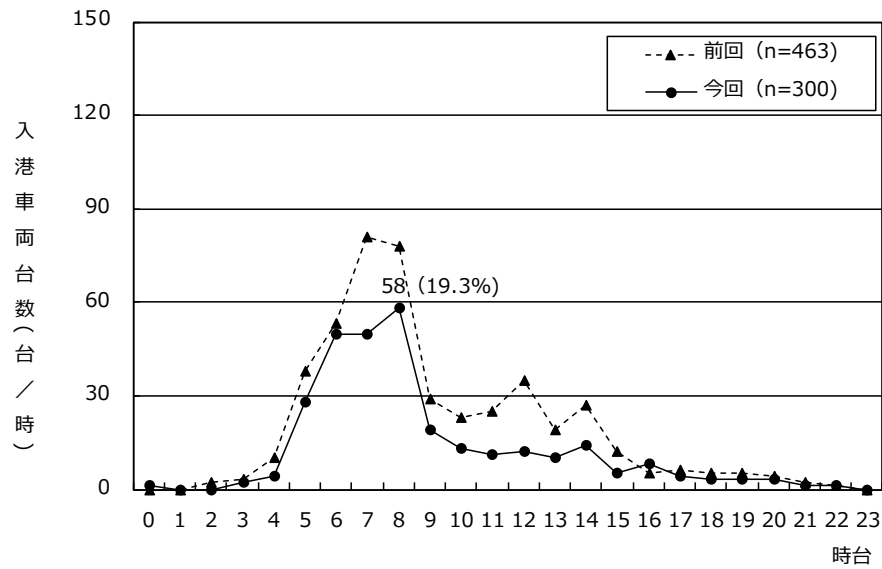


図 2-3-17 二輪車の時間帯別入港車両台数

